

【4-8 定性的システマティックレビュー】

CQ	卵巣癌CQ1	BRCA遺伝子病的バリエント保持者に対し、リスク低減卵管卵巣摘出術 (RRSO) は推奨されるか？
P	BRCA遺伝子病的バリエント保持者	
I	RRSO	
C	no RRSO	
臨床的文脈		BRCA遺伝子病的バリエント保持者の生涯の卵巣癌発症リスクは高率であり、進行卵巣癌の予後は不良である。BRCA遺伝子病的バリエント保持者に対し、リスク低減卵管卵巣摘出術 (RRSO) を施行することで、卵巣癌発症リスクあるいは全死亡リスクを低減することができるかを検討した。また、RRSOの費用対効果、患者の意向や満足度を検討した。
O1	卵巣癌発症リスクの低減効果	
非直接性のまとめ	深刻な非直接性はない？	
バイアスリスクのまとめ	背景因子の差(乳癌既/未発症)、ケアの差(対照群のサーベイランス方法)にバイアスがある。	
非一貫性その他のまとめ	I2=69%	
コメント	今回新たにメタアナリシスは施行せず、2018 Cochraneのメタアナリシス (Domchek 2006; Domchek 2010; Rebbeck 2002) を採用する。	
O2	OS	
非直接性のまとめ	深刻な非直接性無し	
バイアスリスクのまとめ	背景因子、フォローの差にバイアスがある。いずれの論文でも症例数が多くない。	
非一貫性その他のまとめ	I2=0%、得られた結果に非一貫性は無い	
コメント	2019年にsystematic reviewがあるが、コクランレビューを採用とする。	
O3	費用対効果	
非直接性のまとめ		
バイアスリスクのまとめ		
非一貫性その他のまとめ		
コメント	山内先生:RRM&RRSO most cost-effective in BRCA1 and RRM in BRCA2. ドイツ: BRRM/RRSO/RRSO+BRRMはlong-term health-care costsを削減できる。	
O4	患者の意向	
非直接性のまとめ		
バイアスリスクのまとめ		
非一貫性その他のまとめ		
コメント	採用すべき情報無し	
O5	患者満足度	
非直接性のまとめ		
バイアスリスクのまとめ		
非一貫性その他のまとめ		
コメント	採用すべき論文無し	